

# 第79回車座集会（麻生区）結果概要

## 1 開催概要

日時 令和8年3月7日（土） 14:30～16:20  
場所 麻生区役所第1会議室

### (1) テーマ等

麻生区役所を使い倒そう！～公共空間の有効活用～

### (2) 参加者、傍聴者

計30名（参加者15名、傍聴者15名）

○意見交換 公共空間×○○のアイデア

- ◆意見交換① レストラン跡地などの屋内施設の活用
- ◆意見交換② 区役所前広場などの屋外施設の活用

## 2 アンケート結果

2ページ以降参照

## 3 意見交換の概要等

12ページ以降参照

# 第79回車座集会（麻生区）アンケート集計結果

回答率：100%  
参加者 15/15人

## ● 今回の実施内容について

### 問1 市長との意見交換の時間について

(参加者)

ちょうどよい	短い	長い
15	0	0

参考：（傍聴者等）

ちょうどよい	短い	長い
17	1	3

### 問2 全体としての感想について

(参加者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
15	0	0

参考：（傍聴者等）

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
21	0	0

### 問3 本日の車座集会で心に残った言葉、新たな気づきなどがありましたら、お聞かせください。

- (参加者) ✓幅広い年齢を対象にできることの方が「つながり」が生まれる。
- ✓落書きをアートに変える取組。
- ✓管理運営について、周辺大学と絡めていくと学びも含めて上手くいくかもしれません。
- ✓使い倒す。
- ✓若い方達の活躍が分かって良かった。
- ✓多くの方が多世代交流を望まれていると感じました。また、安心して過ごすことのできる居場所づくりの重要性も感じました。
- ✓色々な世代、立場の方々が日々頑張っていることが分かり勉強になりました。また市長が意欲的に意見を聞かれ、実行に移そうとされていて素晴らしいと思いました。数々の御意見を見事にさばかれていたのも印象的でした。
- ✓多世代交流。既にわが町内会でも行っていて多くの参加者が集まっている（岡の上カフェ）。
- ✓若い世代の方の意見は大変貴重でした。

- ✓若者が思ったよりも街に対して積極的であること。持続してほしい。
- ✓学生さん達が積極的にまちづくりに参加されていることがとても嬉しく感じました。また、皆さん憩える場所を求めてらっしゃることが伺えて是非実現していけたらと願っています。
- ✓他の参加者さんの意見も勉強になりました。動くイス、是非導入してほしいです。グリーンパークも。
- ✓誰もが来ることを許される空間を作れるように、様々な場を活用したいと思いました。
- ✓市民の財産。
- ✓麻生区に長年住んでいますが、それでも気づけていなかった魅力に気づくことができた。

参考：  
(傍聴者等)

- ✓イス。
- ✓多世代交流。中高生の自習スペースの確保。できたスペースの運営法。
- ✓多世代の交流する場。平日・休日ごとにタイムシェア（屋内）。新百合ヶ丘らしい色々なイベント（屋内）。
- ✓動かせるイス・ベンチ。楽しく滞留できるスペースが少ない。自由に利用できるスペース→利用者自ら管理。
- ✓屋内の公共空間の使い道は、日頃感じていることに加えることが聞けた。屋外はイスの必要性が予想以上に大きかった。

- ✓昭和音大生と地域の交流が少ない点。イベントのない日の活用→居心地のよい空間に！
- ✓学習の場が足りない。時間が限られている（平日19時まで）
- ✓屋内のサードプレイス的な居場所作りと多世代交流へのシクミ作りで展開する流れは勉強になりました。
- ✓音楽発表（予約）その他は交流（音楽可）の場が素敵です！！店員と話せる喫茶店がない！！人の集う中で発表ができること。
- ✓移動が出来るイス。区役所の中だけではなく、街中にも欲しいと思った。アートセンターの前、ペDESTリアンデッキ、栗平駅前など。
- ✓時間で区切る使い方をを行う。
- ✓旧食堂の運営をできるとおっしゃっていた麻生区SDCの言葉が印象に残りました。
- ✓レストラン跡地で子ども食堂をやりますという言葉。
- ✓多世代交流の大切さ。立場や年代が近い人、遠い人。ママ、パパ同士の交流。
- ✓誰もがそこにいていいと感じられる広場。

- ✓私は海外に行ったことがないのですが、パリに行くと公園内でイスを動かせると聞いてとても面白いなと感じました。
- ✓屋外でのイス。屋内での多世代交流、居場所。
- ✓ずっと川崎に暮らしていて自分自身が知らなかった川崎を知ることができました。車座集会があることを今日来るまで知らなくて、市民と市長の対話など、このことをやってることを皆に知ってもらえるようにしてもいいのかなと思いました。
- ✓「イス」があるだけで変わることに。
- ✓子ども食堂はぜひ開設して下さい。

#### 問4 「麻生区役所の有効活用」について御意見などがありましたら、お聞かせください。

(参加者)

- ✓ イベントを増やす。
- ✓ 今回出た意見が区民に伝えられる、実現に向けた意見交換ができる場があったらいいなと思います。
- ✓ 広場のベンチ、パーゴラ、ステージ等仮設作物を大学生のコンペ等で行えたら面白いと思いました。NYの地下鉄では、演奏して良い人をオーディションで選んでいるそうです。区役所広場で演奏等して良いオーディションを企画すると盛り上がるかも。
- ✓ 市中の山居。
- ✓ 規則をゆるめて、市民の運営による場所があるといいと思いました。
- ✓ 大きなイベントと普段使いの空間利用、どちらも大切。もっと気軽に会議室を使用させてほしい。
- ✓ 参加者の意見を有機的に結合することにより、新しいアイデアが浮かんできた。実現できると良い。
- ✓ 区長の最後の言葉に集約されていました。人々が気軽に集える場所になると良いと思います。
- ✓ Bookシェアをレストラン跡地に置くといいかもです。
- ✓ 本日出た皆さまのご意見はどれも取り入れたらステキなものばかりだったので、もっと多くの方の意見を聞いて参考にされるといいかと思います。
- ✓ 麻生区らしい音楽、芸術、自然、和が取り入れられた区役所になったら嬉しいです。何か一緒にできたらと思います。

✓子育て中のママ、子ども、学生、シニアなど、自由に行ける安心できる場を作っていければと思います。

✓子ども食堂と自習室。

✓子ども食堂などでレストランを使いたい。また、その空きスペースでキッズスペースを作って、今回お話し下さった取組と連携できたら面白そう。

参考：  
(傍聴者等) ✓正に、どう運営していくことができるか、大切な事だと思っていたが、市民の積極的な意見も聞けて期待が持てた。後は、行政側も覚悟を持って前向きにチャレンジして欲しい。

✓イベントがある時もない時も色々な人が出会い交流する場となるような場所になればと思います。

✓学生や市民（特に高齢者）がコミュニティの場として利用できる部屋や空間の創出を実現して欲しい。

✓横浜市には各区に複数の地区センターがあり、体育館、自習室、会議室、図書館がある。麻生区でもそのような機能を参考に有効活用して欲しい。

✓運営主体をどのように決めるのか、持続して責任ある体制で運営できるか、決定のプロセスをオープンにして欲しい。

✓皆さんの意見とても素晴らしかったです。可能式のグリーン、イス、人工芝など社会実証実験として期間ごとに実証してみると素敵だと思いました。

✓今日のメンバーさんもSDCと一緒に作業部会のように作っていきたい。

✓どんな内容だとしても、予約や申し込みがとにかく分かり易く簡単にして欲しい。

✓子ども食堂やります！

✓誰かの居場所として活用されるといいなと思った。子ども食堂いいなと思いました。

- ✓子どもの居場所となれば良いと思います。
- ✓皆が使える（使いやすい）ようにする。
- ✓室内では、主に自習室として開放をしておいて、そこに何曜日はこの団体が音楽を演奏するや、月1で子ども食堂を開催するなどしたらよりたくさんの方が出入りできると考えた。屋外ではキッチンカーやストリートピアノを置いておくと面白いと思った。
- ✓等々カアリーナで昔開放されていた情報サロンというスペースのような、使用方法に制限を設けず利用でき、飲み物やアイス、ご飯の自販機があるようなスペース。
- ✓私自身も高校生をしていて学校の自習室など利用したりしているんですが、地元で勉強できるほうが安心空間だなと思うので、今後区役所などをもっと気軽に利用したいなと思います。また、公園だと夜暗くて危なくて、公共区間でもっと簡単に安心して使える場ができると嬉しいです。
- ✓外の利用はモノがあると促進されるのでは。自習室と食事は屋内ではあるといいと思いました。

## 問5 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見などがありましたら、お聞かせください。

(参加者)

- ✓ 商店会、商店街の存続について。
- ✓ 新百合ヶ丘にはなく「都心」にはあるもので取り入れたいこと。逆に「都心」にはなく新百合ヶ丘にはあるべきもの、こと。
- ✓ 20代～30代が、今、何が楽しく困っているか。
- ✓ 活用されていない場、捨てられているものなど、注目しにくい小さなことを区全体で動けたらと思いました。

参考：

(傍聴者等)

- ✓ 健康長寿を支えるには？
- ✓ 新百合ヶ丘の強み、弱みはどんなところ？新百合ヶ丘、どんな「まち」になったらいいかな？
- ✓ 新百合ヶ丘エリアを更に魅力のあるまちづくりに向け、多方面から考えてもらいたい。
- ✓ 遊休農地の活性化策について。
- ✓ 川崎市は、地理的に南北に長く、各区は経済、交通など東京方向に向いている。市としての一体感を持たせるために何が必要か（各区がバラバラの印象）、行政としての考えを聴きたい。
- ✓ 区役所の職員さんが市の判断や縦割りで悩まず、率直に区民と話し合えるようにするには。
- ✓ 公園でのボールを使った子供の遊び場の減少。思いっきりボールを蹴ったり投げたりする場所が少な過ぎる。

- ✓学生の居場所。
- ✓公共公園の利用者を増やす。治安維持、活性化を目指す。親子の時間確保に繋がる。
- ✓川崎の緑が年々少なくなっていると感じます。川崎が盛り上がるのは大歓迎なのですが、もう少し安らぎが増えてくるといいと思います。



### 皆の会議室

会館を自前で持たない町会・自治会が多いので、そういった町会・自治会が気軽に借りることができる場所があるといい。

### 多世代交流

同じ地域に住んでいるのに他の世代の話を聞く機会がない。多世代が交流して新しい発見が生まれる場に。

地域活動の参加者は高齢者が多い。色々な世代と直接話をして、意見を取り入れたい。

いろいろな企画があったり、時間帯によって使い方が変わるなど、仕掛けがあると、何気なく人が集まり、自然と交流が起きる場所になる。

子育て中のママさんはすごくポジティブで、元気で明るいので、そういった多世代で交流する場にママさんの力も入れてほしい。

サークル活動や市民活動で文化的な活動をしている方の活動の場が減ってきている。そうした活動を通じた多世代交流の場に。

### かみしばい

いい雰囲気で楽しむ音楽ライブができる場に。ライブがない時でも、BGMを流したり、気軽に音楽を楽しめて自然と交流が生まれる空間。

### 音楽

定期的にテーマをチョイスして本を置くなど、本を通じて色々な知が広がる。本を置くだけでなく、イベント的なことも行う。

### 本

### レンタルスペース

活動の場として貸し出すと、その人に何か教わったり、一緒にやりたいという人が集まり、自然と交流が生まれる。

誰でもふらっと入れる、自然と交流が生まれるカフェ。

雰囲気のいい音楽が流れていて、誰でも気軽に使えて居心地がいい場所。

### カフェ

### 放課後の居場所

こども食堂や自習室など、学校が終わったあと、家に帰る以外で安心して行ける、安心して居られる場所として放課後の日常の居場所。

家庭の外に居場所を求める子どもが増えている一方、子どもの遊び場は減少している。定期的にこども食堂を開催するなど、新たな放課後の居場所として。

不登校の子どもや、子ども達がゆとりをもって楽しめる場のことがママさんたちの話題になることが多い。多世代を巻き込んで、楽しみながら何かできるといい。

お金がかからず、友達と誘い合って、気軽に行けて勉強ができる場所。

勉強ができる公共の場所は競争率が高く、時間も限られている。区役所だと、安心して通うことができる。

### 自習室

こども食堂は行きにくいというハードルがあるが、区役所だと広さは十分で、駅からも近く、安心感がある。大学生だけではなく、地域の方々と一緒に運営したい。

### こども食堂

### 地域資源の活用

麻生区ならではのお店、地域の野菜、ワークショップ、芸術の発表の場など、区役所に行けばいつでもその**まちの魅力を味わえる**といい。

麻生区の野菜や食品の販売、子どもが楽しめるワークショップ、音楽・ダンスなど、いろんな方が**地域の魅力を知ることができる**ベジフェスのようなイベントをできたら。

岡上の盆踊りで明治大学の協力で岡上丸山の竹を使った椅子を制作してもらった。**岡上・黒川・早野**といった**農業振興地域の竹**など地域の資源を有効活用できるといい。

岡上町内会では落書きされた橋脚に**和光大学の協力**で学生に桜の絵を描いてもらい、落書きがなくなった。芸術系の学生の発表の場として、区役所前の広場に大きなパネルに絵を描いてもらう。

### アート①

ストリートミュージシャンなどの演奏を座っている方たちが耳を傾けて楽しめる空間。

昭和音楽大学の学生さんの演奏を気軽に聞けるとうれしい。

### 音楽

### その他

小さいお子さんがぐずったときに遊べるようなスペース。

ドッグランで飼い主も通りがかりの人も動物に癒される。

モルックは老若男女、通りがかりの人が誰でも楽しめる。

自分で好きな場所に移動していいイスなどいろんなバリエーションのイスを置くと、**場の柔軟性**を持たすことができる。

### イス

この場所に自分が長く居たいし、場所も自分で選んだ場所に行けるといふようなところがあるといい。

あらゆる世代の人がここは**自分が居ていい場所**だと思えることが大事。

### 居場所

### アイス

将来の夢がアイス屋さんを起業することなので、自分の夢に近づくために、区役所でアイスを売ること**にチャレンジ**したい。アイスを食べる皆に幸せになってほしい。

ダンスでも、音楽でも、日本映画大学には俳優コースもあるので演劇でも、何をやってもいい、誰でも利用できるステージで、まちの**アート・芸術**を知ってもらう。

### 野外ステージ

### イベント

区民まつりなどのイベントの時はお客さんがたくさん集まって、にぎやかな空間になる。そのような空間づくりを行うことで、そこに**参加する人たちの居場所**にもなる。

音楽ステージ、ビアフェスタ、キッチンカーなど、広い公共空間なのでついイベントを考えがちだが、イベントは人が集まるのが当たり前で、むしろ**イベントがない時に人が集まるような活用**を考える必要がある。

ダンスや吹奏楽部など、コンクールではない**発表の場**がもっと増えるといい。

チアダンスも地域で発表できる場があると、**地域とつながる**きっかけになって、区役所をもっと身近に感じられると思う。

### 活動の発表の場

ポスターパネルのようなものをいくつか置いて、プロも一般も関係なく自分の作品を道行く人に見てもらって、**誰もがアートに参画**する、表現できる、鑑賞できる空間。

### アート②

### グリーン

誰もが心地いいと感じられる空間として、**広い緑の芝生**の空間があると、自然と人が集まる。人はなぜか芝生に座りたがる。

## 取組の方向性と今後のスケジュール

### 意見交換のまとめ

#### 屋内

- 利用者の世代、目的などでタイムシェアが可能ではないか。
- 必要な場のイメージは、「だれでも」「気軽に」「安心できる」「雰囲気がいい」「居場所と感じられる」空間。
- 「自然と交流を生む」ためには、人を引き寄せる「仕掛け」が必要。
- 「使い倒す」ためには、職員ではなく市民の力で場所を生み出す、場所を管理（運営）していくことが必要。

#### 屋外

- 「イベント」「ステージ」「アート展示」など多様な使い方ができるのではないか。
- 市民の「活動を発表する場」「チャレンジを応援する場」にできるといい。
- 農産物、芸術・文化、大学のネットワークなど区の地域資源を有効に活用できるといい。
- 「みどり」「イス」を増やして、誰もが居心地がいい居場所として感じられる「一息スポット」を。

### 「区役所を使い倒す」上での課題

「気軽に」、「安心して」、「心地よく」利用できる利用ルールづくり（例）勉強をしたい人と、おしゃべりしたい人の共存 など  
区役所業務の円滑な遂行、市民の大切な情報を守るためのセキュリティ確保の方策の検討（例）防犯カメラの設置、守衛の巡回 など  
「誰でも」、「気軽に」利用できる、利用者が管理（運営）に関わる体制づくり（例）管理運営協議会、利用者ネットワーク など  
誰もが「居場所と感じることができる」雰囲気づくり、空間づくり（例）BGM、図書コーナーやドリンクコーナーの設置 など

### 取組の方向性

STEP1 車座集会のアイデアのうち、すぐに実現できそうなものからSDC等によるコーディネートのもと取組の試行実施を開始

STEP2 試行実施しながら公共空間の活用のルールづくり、市民参加による管理運営のあり方を検討し、本格実施につなげていく

# 今後のスケジュール(予定)

